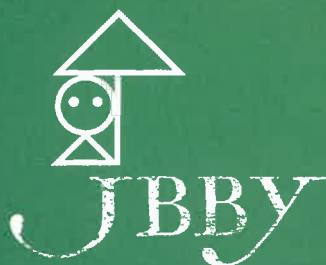


現代絵本のパイオニア 堀内誠一の生涯と作品



online seminar

#38

8/27 (日)

14:00-16:00



福音館書店 刊

日時 8月27 (日)
14:00 ~ 16:00

講師 林綾野
(キュレーター、アートライター)

参加費 一般 1,300 円
JBBY 会員 1,000 円

オンライン開催のみ
(見逃し配信あり)

堀内誠一は、1958年に最初の絵本『くろまブランキー』を出版します。以来「たろう」シリーズや『ぐるんぱのようちえん』をはじめとする人気絵本を生み出し、その生涯で約80冊の絵本を残し、約70冊の本の挿絵を手がけました。

また、「こどものとも」の創刊時から企画に関わるなど、現代日本の絵本の世界を様々にけん引してきたパイオニアでもあります。堀内は絵本作家となる以前より、人物像や風景画などの油絵作品を数多く描いており、少年の頃より絵を描くことを何よりも愛していました。絵を描くことは、生きる喜びであり、何かを誰かに伝える大切な手段でもあったのです。

一人の絵本作家が描いたとは思えないほど、多彩な作風でさまざまな絵本を残した堀内。物語が含むものを最もいい形で子どもたちに伝えるにはどんな絵にしたらいいのか、常に模索を重ね、絵を描きました。それがいかに現代の絵本に大きな影響を及ぼしたかは計り知れません。堀内誠一の作品の魅力とはなんなのか。本講座では描くことを愛した堀内の生涯と、その作品の世界を改めて見つめます。

詳細・お申し込みは Peatix から
→ インターネットで「peatix jbbj」で検索
<https://jbbjonline038.peatix.com/>



講座をお申し込みの方に限り、9月4日(月)正午まで
収録動画(無編集)をご覧いただけます。

◆講師プロフィール◆



林綾野 (はやし あやの) キュレーター、アートライター

美術館での展覧会企画、絵画鑑賞のワークショップ、美術書の企画や執筆を手がける。画家の創作への想いや食の趣向などを研究、紹介し、美術鑑賞をより身近なものとして提案する。著書『フェルメールの食卓』『モネ 庭とレシビ』『ぼくはフィンセント・ファン・ゴッホ』(講談社)など。2021年1月より全国巡回展「堀内誠一 絵の世界展」を企画制作。「堀内誠一 子どもの世界」が現在「福井県ふるさと文学館」にて開催中(～9月18日)。近年手がけた展覧会に「谷川俊太郎絵本百貨展」「柚木沙弥郎 life・LIFE」「かこさとしの世界」「安野光雅 風景と絵本の世界」などがある。

◆JBBYとは◆

国際児童図書評議会 (IBBY) の日本支部として 1974 年に設立されました。「子ども・本・平和」をテーマに、国内外のなかまと活動を続けています。「国際アンデルセン賞」のノミネートをはじめ、日本の子どもの本の情報を海外に発信したり、世界の優れた児童書や作り手を日本に紹介するのも JBBY の役目です。